

2023年8月21日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社  
代表者名 代表取締役社長 金森 健  
(コード番号 6269 東証プライム市場)  
問合せ先 経営企画部 (TEL. 03-5290-1240)

## ペトロbras社ブラジル沖合 Marlim 鉱区向け「FPSO Anita Garibaldi MV33」 がチャーターサービスを開始

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:金森健、以下「当社」)が、ブラジル連邦共和国の国営石油会社 Petr leo Brasileiro S.A.(以下「ペトロbras社」、本社リオデジャネイロ市)より受注し、建造を行っていた浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備(FPSO : Floating Production, Storage & Offloading system)である「FPSO Anita Garibaldi MV33(以下「本 FPSO」)」は、現地時間 8 月 16 日付でブラジル沖合での原油・ガス生産を開始し、チャーターサービス(リース及び運転・保守点検等のオペレーション)の提供を始めました。

本 FPSO は、ペトロbras社がオペレーターを務める、Campos(カンポス)海盆地内 Marlim 鉱区の再活性化プロジェクトに用いられます。日量 8 万バレルの原油生産能力、日量 7 百万立方メートルのガス生産能力、100 万バレルの原油貯蔵能力を持ち、当社米国子会社の SOFEC 社が設計・納入する Spread Mooring(スプレッド・ムアリング:多点係留)と呼ばれる係留設備で、リオデジャネイロ沖合約 150km、水深約 670m の海上に係留されています。また、本 FPSO のトップサイドは総重量 4 万トンを超え、当社がこれまでに手掛けた FPSO の中でも最大規模となります。更に、油水分離プロセスにおいて最大日量 27 万バレルにも及ぶ大量の随伴水を処理するため、当社では初めてとなるカーゴタンク(貨物油タンク)を活用した分離タンクのコンセプト(仕様)を採用しています。

当社は本 FPSO の設計から機器購入、建造までを請け負いました。今後は当社(32.5%)、三井物産株式会社(32.5%)、株式会社商船三井(20.0%)、及び丸紅株式会社(15.0%)がそれぞれ出資する Marlim1 MV33 B.V.が本 FPSO を保有し、ペトロbras社に対し 25 年もの長期にわたるチャーターサービスを提供します。新型コロナウイルスの世界的流行の影響下で建造工事が進められた本 FPSO のチャーターサービス開始は、本年度以降の当社の収益基盤強化に貢献することが期待されます。

尚、本 FPSO は、当社がペトロbras社の開発プロジェクト向けに提供する 14 基目の浮体式生産設備であり、当社のブラジルの開発プロジェクト向けとしては 16 基目となります。



FPSO Anita Garibaldi MV33

### 三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発（MODEC）は、FPSO（Floating Production, Storage & Offloading system: 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備）をはじめとする海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油ガス・生産設備の設計、建造、リース、チャーター、オペレーション&メンテナンス・サービスを提供する日本で唯一の企業です。

<https://www.modec.com/jp>